

奥羽大学報



令和8年度入学式

目次

奥羽大学の理念・目的 / 令和8年度入学式 / 告辞	1
新入生代表宣誓 / 特待生之証授与式	2
歯学部新入生オリエンテーション 薬学部新入生オリエンテーションキャンパス / 令和8年度大学院入学式 大学院新入生オリエンテーション	3
末松誠博士による大学院特別研修セミナーの開催 歯科医師国家試験の結果について / 薬剤師国家試験の結果について 献体者合同慰霊式 / 実験動物供養	4
2026年度 歯学部教育後援会・保護者懇談会 地域と共に歩む公開講座のご案内 2026年度 学長裁量経費の採択について	5
ライフサポート部が第33回仙台国際ハーフマラソンにて救護ボランティアに参加 歯学部FD研修会の開催 / 2026年度第1回SD研修会	6
ちょっと寄り道 / 奥羽大now	7
臨床実習登院式 / 歯科医師臨床研修開始式 / 薬学部就職先一覧 歯学部1年生歯科材料工場見学	8
奥羽大学歯学会の開催 / キャンパスの風景	9
学校法人晴川学舎 2025年度決算報告	10
新任教授紹介	11
同窓生のひろば	13
人事	14
薬用植物園だより	16
2027年度 奥羽大学入試日程	17

183

通算 第308号

奥羽大学の理念・目的

理 念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

目 的

奥羽大学は、教育基本法(昭和22年法律第25号)並びに学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道德的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

令和8年度入学式

4月4日(土)午前10時より、第2講義棟第1講義室にて、令和8年度入学式が行われた。

式は国歌斉唱に始まり、前田豊信大学院研究科長の学事報告と続き、新入生83名(歯学部44名、薬学部39名)及び編入生26名(歯学部20名、薬学部6名)の全員が呼名され、入学が許可された。清浦有祐学長より新入生への期待に満ちた告辞があり、これに対して入学生を代表し、歯学部濱崎凌さんと薬学部西村由奈さんが、「建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念する」と誓った。また、高田訓歯学部長、押尾茂薬学部長より歯学部23名、薬学部16名の特待生に対して証の代表授与があった。最後に教授紹介が行われ、厳肅な雰囲気の中に終了した。

同日の午後2時から、大学院歯学研究科の入学式も行われた。

入学式は、人生の中でも将来へ希望を繋ぐ節目にあたり、新入生、ご家族の皆様にとっては心待ちにしている行事である。入学式には、来場者の満面の笑みがあった。

告辞

学長 清 浦 有 祐

新入生の皆さん。

ご入学、誠におめでとうございます。

今日という日は、皆さんの人生において新しい歩みが始まる大切な日です。同時に奥

羽大学にとりまして、未来の医療を担う新しい仲間を迎える喜びの日であります。本日ここに、希望に満ちた皆さんを迎えることができずことを、教職員一同、心から誇りに思っております。また、今日の日まで皆さんを温かく見守り、励まし、支えてこられたご家族・保護者の皆様に、大学を代表して深く感謝申し上げます。さらに、ご多忙の中ご臨席を賜りました学校法人晴川学舎理事長 大桶志延先生をはじめ、ご来賓の皆様に、謹んで御礼申し上げます。

ここで改めて、本学の歩みの原点について申し上げます。その歴史の出発点には、創立者 故影山四郎先生 の確かな信念がありました。先生は、この東北の地において、歯科医療を必要としながら十分な治療を受けることのできない人々が少なくない現実を目の当たりにされました。そのとき先生は、この地域の人々の口腔の健康を守るためには、使命感にあふれ、優しさと思いやりを備えた歯科医師をこの東北の地で育てなければならぬと強く決意されたのであります。

この決意のもと、1972年に東北歯科大学が創設され、その思いは今日、奥羽大学へと受け継がれ、今もなお本学の歩みの中に静かに息づいております。影山先生がこの大学に託された願いは、ただ一つでありました。人々から信頼される医療人を育てること。この願いは時代を越え、今日ここにいる皆さんへと確かに受け継がれております。そして、この創立者の願いを現在に伝えるものこそが、本学の建学の理念であります。本学の建学の理念は、「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」とい

う言葉に表されています。医療には高度な知識と技術が必要であります。しかし、それだけで人々の信頼を得ることはできません。患者さんは、病だけを抱えて医療の門をたたくものではありません。不安や苦しみ、言葉にできない思いを抱えて私たちの前に立たれます。そのとき本当に人を支えるのは、その人の尊厳を大切にしようとする心であります。だからこそ本学は、優れた専門職を育てるだけではなく、人として信頼される医療人を育てる大学であり続けたいと願っております。

新入生の皆さん。これから皆さんが歩む大学での学びも、まさにこの理念のもとに進められていきます。大学とは、ただ知識を受け取る場所ではありません。自らを鍛え、自らを高め、自らの人生を築く場所であります。これから皆さんは、歯科医師、あるいは薬剤師という専門職を目指す道へと歩み始めます。それは単なる職業ではありません。社会から信頼を託された使命であります。その学びは決して平坦ではありません。努力が求められる日もあるでしょう。自信を失いそうになる日もあるかもしれません。そのようなとき、心に留めておいていただきたいことがあります。人の命と健康を支える力は、努力の積み重ねの中でしか育たない。ということでもあります。しかし、皆さんは決して一人ではありません。ともに学ぶ仲間がおります。皆さんを支える教職員がおります。奥羽大学は、皆さんの成長を支える大学であります。

やがて皆さんが、確かな知識と技術、そして深い人間性を身につけ、社会から信頼される医療人としてこの奥羽大学を巣立つ日が来ることでありましょう。そのとき皆さんは、多くの人々の人生に寄り添い、その健康と安心を支える存在となっていることでしょう。そしてその姿を、きっと創立者 影山四郎先生 も静かに見守っておられるに違いありません。皆さんのこれからの歩みが、多くの人々の人生を支える光となることを心から祈念申し上げます。

医療とは、人の人生を支える営みであります。どうかこの思いを胸に、奥羽大学での学びの日々を歩んでください。

以上をもって告辞いたします。

最後に、保護者の皆様に申し上げます。本日、ご子息・ご息女を奥羽大学に送り出してくださっ

たことに心より感謝申し上げます。皆様が大切に育ててこられた若き人材を、私たちはこれから医療人として育ててまいります。どうか温かく見守っていただければ幸いに存じます。

改めまして、新入生の皆さん。ご入学、誠にありがとうございます。

新入生代表宣誓

本日は、私達一同にとりまして、生涯忘れることない、大きな喜びを感じる日となりました。

ただ今、学長先生の告辞をいただき、大学生としての自覚と責任の重大さを強く認識いたしました。

私達入学生一同は、ひとときの喜びにおごることなく、一日一日の積み重ねを大切に、建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念することを誓います。

令和8年4月4日

入学生代表 歯学部歯学科 濱崎 凌
薬学部薬学科 西村由奈



誓いの言葉を述べる入学生

特待生之証授与式

本学では、2015年度に特待生制度を設け、2026年3月には6期生が卒業した。

学費全額または半額免除の経済支援を受けた特待生は、将来、歯科医師・薬剤師として地域医

療を通じ、社会に貢献するものと期待される。

今年度の特待生之証授与式は、4月13日(月)に学部ごとに行われた。歯学部が16時40分より第3講義棟322教室にて、薬学部は9時40分より薬学部棟2階524教室にて、それぞれ行われ、清浦有祐学長から「特待生之証」が授与された。

特待生の資格は所定の基準により最大6年間継続できるが、これまでに大多数の学生が継続している。

【特待生之証授与者数】

第1学年	歯学部 23名	薬学部 16名	計 39名
第2学年	歯学部 14名	薬学部 15名	計 29名
第3学年	歯学部 15名	薬学部 4名	計 19名
第4学年	歯学部 12名	薬学部 11名	計 23名
第5学年	歯学部 13名	薬学部 8名	計 21名
第6学年	歯学部 10名	薬学部 9名	計 19名

歯学部新入生オリエンテーション

4月4日(土)の入学式に引き続き、歯学部新入生と入学式に参加された教育支援者を対象とした新入生オリエンテーションが開催された。はじめに学長、歯学部長および学生部長からの挨拶があった。歯学部長からは「人間性豊かな歯科医師」について、学生部長からは福島県の地図を用いたスライドによる本学の概要について説明があった。学年主任・クラス担任・カウンセラーが紹介されたあと、教務関係の説明、郡山市のハザードマップ・緊急避難場所・医療機関など学生生活に関わる事項の説明が行われた。また、4月6日(月)には、新入生のみを対象に、授業科目担当教員から各科目の概要説明があった。その後、学生生活についての説明、学内ネットワーク講習、クラス別ガイダンス、学内見学が行われた。

薬学部新入生オリエンテーションキャンプ

4月11日(土)、2026年度薬学部新入生オリエンテーションキャンプが実施され、新入生、上級生ボランティア、教員の計60名が参加した。参加者は大学キャンパスから猪苗代町のホテルリステル猪苗代へ貸切バスで移動し、新入生同士の交流を目的としたチームビルディング活動や、上級生との情報交換の場となるグループトークに取り組んだ。

実施後に1年生を対象として行ったアンケートでは、「楽しかった」「どちらかといえば楽しかった」との回答を合わせると90%を超え、本行事はおおむね好評であった。特に、上級生とのグループトークについては、肯定的な回答が97.1%に達した。これらの結果から、本キャンプは、入学後間もない新入生にとって、クラスメートとの親睦を深めるとともに、大学生活に関する情報を得る有意義な機会となったことがうかがえる。

薬学部では、今回の成果を踏まえ、今後の企画の充実につなげていく予定である。

令和8年度大学院入学式

4月4日(土)、令和8年度大学院入学式が、附属病院棟5階第3会議室において、大学院各専攻科目担当教員参列のもと挙行された。本年度は10名が入学し、新たな研究者としての第一歩を踏み出した。

式では、新入生一人ひとりが呼名された後、清浦有祐学長より入学が許可された。続いて学長告辞では、大学院における研究活動の意義や、研究者として求められる探究心、社会への貢献について述べられた。また、学術研究を通じて新たな知見を創出し、歯学の発展に寄与することへの期待が伝えられた。

その後、各研究科委員から、それぞれの専門分野における研究内容や現在取り組んでいる研究テーマについて紹介が行われた。加えて、大学院生活を充実したものとするための心構えや、研究活動を進める上での助言も述べられ、新入生は熱心に耳を傾けていた。

大学院新入生オリエンテーション

4月4日(土)の大学院入学式終了後に大学院オリエンテーションが開催され、前田豊信研究科長より、カリキュラムマップを用いながら、入学から学位取得に至るまでの履修計画や研究の進め方、学位論文作成までの流れについて具体的な説明がなされた。加えて、研究活動を行う上で不可欠となる研究倫理についても解説があり、研究不正の防止や研究者としての責任、社会的信頼を維持することの重要性が強調された。新入生たちは、これから始まる大学院での研究生

活に期待を抱くとともに、研究者としての責任の自覚を新たにした様子であった。今後、それぞれの専門分野において研鑽を積み、学術の発展と社会への貢献につながる研究成果を生み出すことが期待される。

末松誠博士による大学院 特別研修セミナーの開催

5月22日(金)、第3講義棟332教室において、公益財団法人実中研所長・慶應義塾大学名誉教授の末松誠博士を招き、大学院特別研修セミナーが開催された。

本セミナーでは、「イメージングメタボロミクスによるトランスレーション：がんから認知症へ、マウスから非ヒト霊長類へ」と題した講演が行われた。末松博士は、我が国を代表する医学研究者の一人であり、医療イノベーション、橋渡し研究、産学官連携、人材育成など、多方面にわたり日本の医学・生命科学研究の発展に大きく貢献してきた。

当日は多数の教員および大学院生が参加し、イメージングメタボロミクスによる最先端の研究内容に熱心に耳を傾けた。講演後には多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われるなど、会場は終始、知的刺激に満ちたアカデミックな雰囲気包まれた。

本セミナーは、本学大学院における研究力の向上と、次代を担う研究者・医療人の育成にとって、大変有意義な機会となった。

歯科医師国家試験の結果について

第119回歯科医師国家試験は2026年1月31日(土)と2月1日(日)に実施され、3月16日(月)に合格者が発表された。

本学は新卒受験者47名中27名が合格、既卒者を含めた全体では112名のうち41名が合格した。

薬剤師国家試験の結果について

2026年2月21日(土)、22日(日)の両日、第111回薬剤師国家試験が実施され、3月25日(水)に合格者が発表された。

本学は、新卒受験者72名中54名が合格、既卒者を含めた全体では162名のうち82名が合格した。

献体者合同慰霊式

5月27日(水)、2026年度奥羽大学献体者合同慰霊式が、郡山市の霊鷲山常居寺慰霊碑前において、厳かに執り行われた。本年度は、2025年度成願者10名のご尊名が静かに拝誦され、深い敬意と感謝の念のもと、霊札納塔の儀が執り行われた。式典では、清浦有祐学長より、歯学教育の根幹は、尊いご献体によって支えられていること、そして献体という崇高なご決断が、未来の医療人を育み、多くの患者の命と健康を守る礎となっていることへの深甚なる感謝が述べられた。続いて、学生代表の目黒颯さんより追悼の辞が捧げられ、献体者の高邁なご遺志を胸に刻み、人間の尊厳を深く理解した医療人となる決意が語られた。

その後、ご遺族の皆様、本学学生による献花が静かに行われ、参列者一同、ご献体をお寄せくださった方々の尊いご厚意と、それを支え見守られたご遺族の皆様のご高配に対し、尽きることのない感謝を捧げるとともに、心よりご冥福をお祈りした。

献体とは、自らの身体をもって未来の医療を支えようとする、人類愛に満ちた崇高な献身である。本学は、その尊いご遺志を永く胸に刻み、生命の尊厳を深く理解し、人々に寄り添うことのできる医療人の育成に、今後も全力を尽くすことを誓うものである。



追悼の辞を述べる目黒颯さん

実験動物供養

5月27日(水)、郡山市片平町の霊鷲山常居寺実験動物供養塔前において、実験動物供養が厳粛かつしめやかに執り行われた。動物実験委員会

委員長、歯学部第2学年学生ならびに動物実験に携わる歯学部・薬学部の教員が参列し、これまで本学の教育・研究活動に貢献してきた実験動物の霊を慰めた。生命科学の発展は、多くの実験動物の尊い犠牲と献身によって支えられている。本学においても、多くの実験動物の協力のもとで教育や研究活動が行われてきた。参列者一同は、これらの尊い命に心から感謝を表し、今後も動物倫理に十分配慮しながら適正な動物実験を実施していくことを誓った。



厳粛に執り行われた実験動物供養式

2026年度 歯学部教育後援会・教育支援者懇談会

5月23日(土)、2026年度歯学部教育後援会第1回総会が、第2講義棟にて開催された。その後、歯学部の教育支援者懇談会が行われた。教育支援者からは、普段の生活の様子や進級基準、国家試験の傾向やCBT・OSCEに関する事など、学業全般に関係する質問が多数なされた。クラス担任がそれぞれ現況を説明し、学習のアドバイスを行うなど、丁寧に対応した。



挨拶する教育後援会会長

地域と共に歩む公開講座のご案内

本学では、地域の皆様と知的な交流を深めるとともに、健康への意識を高めていただくことを目的に、「公開講座」を継続的に開催している。テーマ・講師については、次の通りである。

2026年度は、身近な健康トラブルからシニア世代のヘルスケアまで、日々の生活に役立つ4つのテーマを用意した。参加費は無料、事前の予約も不要である。お車での来校にも対応できるよう無料駐車場も完備しているため、近隣の方々とお誘い合わせの上、気軽に足を運んでいただきたい。

第1回	見逃し注意！隠れ脱水症状 ～適切な水分補給は健康維持のスタート～ 薬学部 教授 杉田 尚寛	6月20日(土) 9:30～11:00 <質疑受付> 11:00～11:30 (定員 100名)
第2回	お口のがん「口腔がん」について知ろう 歯学部 講師 小嶋 忠之	7月4日(土) 9:30～11:00 <質疑受付> 11:00～11:30 (定員 100名)
第3回	高齢者の特徴や健康、病気について 薬学部 教授 小池 勇一	7月18日(土) 9:30～11:00 <質疑受付> 11:00～11:30 (定員 100名)
第4回	お口の機能は健康長寿に直結！ ～歯をなくしたら義歯やインプラントで回復を～ 歯学部附属病院 教授 山森 徹雄	9月5日(土) 9:30～11:00 <質疑受付> 11:00～11:30 (定員 100名)

2026年度 学長裁量経費の採択について

2026年度学長裁量経費について、審査の結果、採択者が決定された。

本制度は、本学における研究の質的向上と国際的発信力の強化を目的として設けられたものであり、採択された研究はいずれも将来性に富み、本学の研究力を牽引することが期待されるものである。

採択された教員各位においては、その責務の重さと期待の大きさを自覚し、優れた研究成果の創出と発信に一層邁進することを強く期待される。

【採択者一覧】(敬称略)

赤穂 麗子	荒木 啓吾	石山 玄明	大須賀 謙二
荻野 早紀	小野 哲也	小須田 一剛	加川 千鶴世
柏木 良友	金原 淳	神林 直大	川鍋 仁
北村 裕紀	倉品 先秀	古泉 博之	小林 美智代
小林 洋平	古山 昭	佐久間 勉	櫻井 敏博

志賀 虹渚 須藤 遥 関 健二郎 玉井 利代子
西屋 禎 根本 奈央子 松村 賢史 南 健太郎
三宅 正紀 守屋 孝洋 山田 嘉重 若林 千里

ライフサポート部が第33回仙台国際ハーフマラソンにて救護ボランティアに参加

5月10日(日)に開催された「第33回仙台国際ハーフマラソン2026」に、本学ライフサポート部の学生14名および教員3名が、救護ボランティアとして参加した。本大会は、東北を代表する歴史ある市民マラソン大会として広く知られており、今年は11,000人を超えるランナーが参加し、新緑に包まれた杜の都・仙台の街を力強く駆け抜けた。

当日は晴天に恵まれた一方で最高気温が26℃に達し、熱中症や脱水症状を訴えるランナーが相次いだ。救護活動にあたった本学の学生および教員は、次々と搬送されるランナーへの対応に追われ、休む間もないほどの緊張感につつまれた現場を経験した。

そのような状況下でも、ライフサポート部の学生たちは、日頃の学修や訓練で培った知識と対応力を活かし、教員の指導のもとで迅速かつ丁寧な救護活動を実践した。参加した学生にとっては、医療人として求められる責任感や判断力、そして人命を支える使命感を改めて実感する貴重な経験となった。



ライフサポート部のメンバー

歯学部FD研修会の開催

6月11日(木)に、歯学部FD研修会が開催された。歯学生共用試験CBT公募問題の学内提出締め切

りを控えるなか、本学歯科補綴学講座有床義歯学教授である、高津匡樹教授を講師としてお迎えした。高津教授は、2017年から共用試験実施評価機構のCBT委員を勤められており、本学においてCBTに最も精通した先生の一人である。本研修会では、BU担当者の視点に基づいたCBT作問のポイントのほか、日々の授業や定期試験における教員個人の作問能力向上の重要性についてご講演を賜った。

今回の研修会は、本学におけるCBT問題採択率の維持だけでなく、CBTさらには歯科医師国家試験の合格率向上に向けて重要な契機となった。

2026年度第1回SD研修会

2026年度第1回のSD研修会が、「職場における熱中症予防」をテーマに、5月29日(金)17時10分から30分間、オンラインで開催された。講師は本学産業医の風間咲美教授が担当した。まず、熱中症の病態や症状についての説明があり、次に、昨年施行された「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」を礎として、昨年、本学衛生委員会で決定された事項の再確認として、熱中症が疑われる人を発見した場合の救護の手順や連絡先を各部署内で予め決めて掲示すること、各自で対策用品を持歩くことなどが説明された。最後に、暑熱順化として、ウォーキング、入浴などを、自らのできる範囲で行うことが奨励された。

ちょっと寄り道! 近代公共図書館の誕生

明治5年、京都に設立された集書会社が、近代公共図書館の先駆けとなった。この年には官立の書籍館も開設されたが、御雇外国人ポールドウィンの建言によるこの集書会社が、わが国最初の民間経営公共図書館となった。

この図書館は、御用書林村上勘兵衛、書籍会社大黒屋太郎右衛門ら4名が京都府庁に公共の図書館閲覧所の開設を願出たことに端を発した。京都府は集書会社の南に集書院を新築し、これの経営を集書会社に委託した。利用者は入会金として銀1円を納入、館外貸出しは図書の原価の金額を預ける。返却期限に遅れた場合はその本を購入してもらうという一種の会員制であり、公設民営の図書館であった。しかし入館者が少なく、1ヶ月の利用者10人という月もあり、ついに経営を京都府に返上して、明治15年閉院した。商業的運営の破綻は目にみえていた。蔵書は京都府立図書館にひきつがれた。集書院の経営はこの時代にあっては時期尚早だったという見方がある。しかし、その影響は大きく、その後の公共図書館が誕生する足がかりを作ったと言える。

(A)

奥羽大 now

歯学部生2名が「第62代ミスうねめ」に選出

郡山市の夏の風物詩として親しまれる「郡山うねめまつり」。その顔となる「第62代ミスうねめ」に、本学歯学部6年の増子万葉さんと歯学部2年の糠沢黎さんが選出された。

ミスうねめは、郡山市を代表する親善大使として、市の魅力を県内外へ広く発信する重要な役割を担う。今回、学業の傍らでこうした大役を任された二人の快挙は、本学にとっても誠に喜ばしく、誇り高い出来事である。

二人は今後、「郡山うねめまつり」をはじめとする様々な行事や広報活動を通じ、郡山市の魅力を広くPRしていく予定である。



左から、糠沢黎さん、清浦有祐学長、増子万葉さん

臨床実習登院式

4月6日(月)、歯学部第5学年55名の臨床実習登院式が行われた。羽島弘毅附属病院長からStudent Dentistとして患者さんに寄り添う人間性豊かな医療人としての自覚を持った行動をするよう訓示があった。学年委員長の西村真海さんが、臨床実習規定を守り、勉学に励み、有意義な臨床実習となるよう努力することを実習生を代表して宣誓した。今後、各診療科でローテーション方式の実習が行われる。



55名が臨んだ臨床実習登院式

歯科医師臨床研修開始式

2026年度歯科医師臨床研修開始式が4月1日(水)に挙行された。羽島弘毅附属病院長より、単独型：16名、地域医療短期：2名、地域医療長期：1名、計19名の研修が許可された。

病院長と研修管理委員長から、奥羽大学の理念「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材の育成」に基づき、臨床研修を通して、歯科医療に関する知識・技術のみならず歯科医師としての資質を身につけるよう訓示があった。研修歯科医は、これから始まる歯科医師人生への期待を胸に、生涯研修の一步を踏み出した。



歯科医師臨床研修開始式の様子

薬学部就職先一覧

【病院】

みやぎ県南中核病院、済生会福島総合病院、公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂総合病院、一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院、一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院、公立岩瀬病院、一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院、国際医療福祉大学那須医療センター、医療法人財団明理会新越谷病院、東京北医療センター、横浜市立大学附属病院

【薬局】

アイン薬局、いまいメディカルグループ、ウィズ薬局、日本調剤株式会社、有限会社メディカほし薬局、株式会社オオノ、スギホールディングス株式会社、株式会社ヤマザワ薬品、クオール株式会社、株式会社コスモファーマ、有限会社東和薬局、株式会社アップルケアネット、ラッキーバッグ株式会社、株式会社メディカルルー光、株式会社ライプリー、日本メディカルシステム株式会社、有限会社ファーマシーすず

【ドラッグストア】

株式会社サンドラッグ、株式会社クスリのアオキ、株式会社クリエイトエス・ディー、スギ薬局、株式会社アインホールディングス

【その他】

あすか製薬株式会社、株式会社クラフト、埼玉県職員、福島大学大学院、学校法人医学アカデミーグループ

歯学部1年生歯科材料工場見学

5月25日(月)、歯学部第1学年が那須烏山市の株式会社シオダ本社工場を見学した。工場では学年を3グループに分け、レーザー溶接や金属の切削過程、硬化熱処理の装置、製品の検品作業および製造製品の見学をおこなった。熱心に職員の方に質問するなど、学生の自主的な行動もみられた。見学終了後、工場スタッフに見学の総括をしていただき、会社カタログおよび学生自身が校章をマーキングしたピンセットをいただいた。見学後の課題として提出されたレポートには、「社員さん一人一人の器具に対しての気持ちを知ることができたので、将来、歯科医師になっ

たら、一つ一つの器具に感謝して大切に使用していきたい。」といった感想もあり、学生にとって自身の将来像を考える有意義な経験となったと考えられる。



充実の工場見学を終えて

奥羽大学歯学会の開催

6月13日(土)、第79回奥羽大学歯学会が、歯学部附属病院棟5階臨床講義室において開催された。

本学会では計4演題の口演が行われ、そのうち

3題は大学院生による学位口演であった。演題・発表者については、次の通りである。

発表者たちは、これまで真摯に積み重ねてきた研究成果を報告した。参加者からは多くの質問が寄せられるなど、活発な討論が展開された。

1. アクロレインの持続添加が、マウス骨芽細胞様細胞MC3T3-E1細胞に及ぼす影響

橋原 楓 (奥羽大学大学院・口腔機能回復)

2. 歯科用コーンビームCTによる乳切歯歯髄腔形態の三次元的計測

牧 諒 (奥羽大学大学院・加齢口腔科学)

3. 成長に伴う顎関節の形態変化の歯科用コーンビームCTによる観察

長谷川祐 (奥羽大学大学院・口腔機能解剖)

4. 当科にて発生した除去用バー破折による誤飲事故の報告

渡邊 輝 (奥羽大学歯学部口腔外科)

キャンパスの風景

つつじ燃ゆ 土から色を吹き上げて

上野章子

キャンパスの斜面を鮮やかに染め上げるツツジの花々。初夏の抜けるような青空と、本学を象徴するブルーの校舎を背景に、燃えるような色がひととき美しく映え、行き交う人々の目を楽しませてくれます。

陽光を浴びて力強く咲き誇るその姿は、この句が詠むように、内からあふれ出る生命力そのものです。それはまるで、新たな目標に向かって歩みを進める学生たちの、希望に満ちたエネルギーのようにも感じられます。小さな花が無数に寄り集まり、互いに引き立て合うことで、見る者の心を明るく照らす壮大な風景を描き出しているのです。

新年度のスタートから時が過ぎ、キャンパスは活気に満ちています。学生の皆さんには、大学生活での深い学びや、かけがえのない仲間たちとの出会いを通じ、このツツジのように自身の個性を大切に育み、それぞれの才能を力強く、鮮やかに開花させていってほしいと心から願っています。

(撮影・文 本多真史)



キャンパスの斜面を鮮やかに染め上げるツツジ

学校法人晴川学舎 2025年度決算報告

1. 資金収支計算書

(2025.4.1 ~ 2026.3.31)

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,082,025,000	1,728,489,000	353,536,000
	手数料収入	25,901,000	15,940,400	9,960,600
	寄付金収入	3,070,000	1,200,000	1,870,000
	補助金収入	474,212,000	588,451,900	△ 114,239,900
	付随事業・収益事業収入	590,594,000	525,027,812	65,566,188
	その他の収入	2,654,891,000	2,093,754,749	561,136,251
	前年度繰越支払資金	806,006,812	806,006,812	0
収入の部合計		6,636,699,812	5,758,870,673	877,829,139
支出の部	人件費支出	2,041,800,000	1,970,272,567	71,527,433
	教育研究経費支出	1,533,048,000	1,383,984,242	149,063,758
	管理経費支出	472,786,000	387,495,391	85,290,609
	施設関係支出	2,048,787,000	574,830,527	1,473,956,473
	設備関係支出	190,562,000	541,550,977	△ 350,988,977
	その他の支出	298,434,000	△ 167,542,655	465,976,655
	翌年度繰越支払資金	51,282,812	1,068,279,624	△ 1,016,996,812
	支出の部合計	6,636,699,812	5,758,870,673	877,829,139

2. 事業活動収支計算書

(2025.4.1 ~ 2026.3.31)

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	2,082,025,000	1,728,489,000	353,536,000
	経常費等補助金	474,212,000	338,213,900	135,998,100
	付随事業収入	590,594,000	525,027,812	65,566,188
	その他の収入	123,020,000	106,001,949	17,018,051
	教育活動収入計	3,269,851,000	2,697,732,661	572,118,339
	事業活動支出の部			
	人件費	1,965,910,000	1,980,520,809	△ 14,610,809
	教育研究経費	1,886,787,000	1,737,357,581	149,429,419
	管理経費	540,373,000	474,860,443	65,512,557
教育活動外収支	その他の支出	0	5,579,080	△ 5,579,080
	教育活動支出計	4,393,070,000	4,198,317,913	194,752,087
	教育活動収支差額	△ 1,123,219,000	△ 1,500,585,252	377,366,252
	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金・その他の教育活動外収入	32,958,000	43,842,228	△ 10,884,228
	教育活動外収入計	32,958,000	43,842,228	△ 10,884,228
	事業活動支出の部			
	借入金利息・その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	32,958,000	43,842,228	△ 10,884,228
特別収支	経常収支差額	△ 1,090,261,000	△ 1,456,743,024	366,482,024
	事業活動収入の部			
	資産売却差額・その他の特別収入	500,000	251,291,007	△ 250,791,007
	特別収入計	500,000	251,291,007	△ 250,791,007
	事業活動支出の部			
	資産処分差額・その他の特別支出	0	41,646,166	△ 41,646,166
	特別支出計	0	41,646,166	△ 41,646,166
[予備費]	特別収支差額	500,000	209,644,841	△ 209,144,841
[予 備 費]		50,000,000		50,000,000
基本金組入前当年度収支差額		△ 1,139,761,000	△ 1,247,098,183	107,337,183

3. 貸借対照表

(2026.3.31)

(単位：円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	24,651,723,356	25,903,680,350	△ 1,251,956,994
	有形固定資産	8,850,751,482	8,217,521,610	633,229,872
	特定資産	15,787,306,801	17,674,707,967	△ 1,887,401,166
	その他の固定資産	13,665,073	11,450,773	2,214,300
	流動資産	2,364,209,062	2,103,330,350	260,878,712
	資産の部合計	27,015,932,418	28,007,010,700	△ 991,078,282
負債の部	固定負債	1,124,644,044	1,114,395,802	10,248,242
	流動負債	707,775,762	462,004,103	245,771,659
	負債の部合計	1,832,419,806	1,576,399,905	256,019,901
純資産の部	基本金	29,528,792,144	29,444,766,694	84,025,450
	繰越収支差額	△ 4,345,279,532	△ 3,014,155,899	△ 1,331,123,633
	純資産の部合計	25,183,512,612	26,430,610,795	△ 1,247,098,183
負債及び純資産の部合計		27,015,932,418	28,007,010,700	△ 991,078,282

新任教授紹介



歯学部

歯科保存学講座

歯周病学分野

教授 臼井 通彦

2026年4月1日付で、奥羽大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野教授を拝命いたしました臼井通彦と申します。この場をお借りして、ご挨拶申し上げます。私は神奈川県藤沢市に生まれ、中学からは東京都で育ちました。1999年に東京医科歯科大学歯学部を卒業後、同大学大学院に進学し、歯周病学および骨代謝研究に従事してまいりました。大学院修了後は、日本学術振興会特別研究員、米国ニューヨーク州ロチェスター大学でのPostdoctoral Fellowを経て、昭和大学、九州歯科大学で教育・研究・臨床に携わってまいりました。国立・私立・公立という異なる文化を持つ歯学教育機関を経験してきたことは、私にとって大きな財産です。それぞれの大学が持つ強みや価値観に触れたことで、教育・研究・臨床を多角的に捉える視点を養うことが

できました。こうした経験と人的ネットワークを活かし、奥羽大学から新たな教育・研究の潮流を発信していきたいと考えております。

研究面では、歯周病細菌の迅速検出法や、歯周病と全身疾患との関連について研究を進めております。特に、歯周病細菌が産生するトリプシン様酵素を利用した簡便な診断法の開発に取り組んでおり、本研究は企業との産学連携によって推進しております。また、歯周病医にとって永遠のテーマともいえる「歯周組織再生」を目指し、歯根膜幹細胞を用いたスフェロイド形成研究にも取り組んでおります。これは三次元培養技術を応用した再生医療研究であり、こちらは他大学との学学連携によって進めております。基礎研究の成果を臨床へ橋渡しし、社会に還元するだけでなく、社会そのものを変え得る研究へと発展させていきたいと考えております。

教育面では、歯周病学を単なる知識の暗記ではなく、「全人的歯科医療の基盤となる学問」として伝えることを大切にしております。歯周病学は保存治療だけでなく、補綴、インプラント、矯正治療、さらには全身管理とも深く関わる分野です。学生には、目の前の一本の歯だけでは

なく、一口腔単位、さらには患者全体を診る視点を身につけてほしいと考えております。臨床現場を意識した実践的教育を通じて、主体的に考え、診断し、行動できる歯科医師の育成に尽力してまいります。

奥羽大学の建学の理念である「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材の育成」を胸に、教育・研究・臨床のすべてに全力で取り組んでまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



歯学部

口腔外科学講座

口腔内科学分野

教授 森 一将

2026年4月1日に奥羽大学歯学部口腔外科学講座口腔内科学分野教授に着任いたしました

いた森一将(もりかずまさ)と申します。皆様にご場をお借りしてご挨拶申し上げます。

私は、東京都練馬区出身で、明海大学歯学部を卒業し、当時山本美朗教授が主宰されていた明海大学歯学部口腔外科学第一講座に入局、その後、嶋田淳教授のもと診療、教育、研究に従事してまいりました。関連病院で研鑽を積みながら、口腔病理学分野・草間薫教授のご指導をいただき、「口腔領域の腫瘍および上皮性異形成に関する研究 -FasおよびFas Ligandの発現について-」で学位を取得いたしました。学位研究を基盤とし、口腔微生物学分野・大森喜弘教授にご指導をいただき、口腔潜在的悪性疾患(OPMDs)から口腔扁平上皮癌へ移行する疾患のプロセスのうち、癌化移行を抑制する機序を研究テーマとし、今日もライフワークとしております。今後の新しい研究テーマとしては、口腔カンジダ症の全く新しい治療法の考案を考えております。多くの寝たきり患者さまが口腔内細菌、特に口腔カンジダ症発症により誤嚥性肺炎や深部感染症に罹患し、死の転帰をとる事が厚生労働省によって報告されており、臨床において重要な問題となっております。従来、抗真菌薬の投与がなされておりましたが、私の調査で、コンプロマイズドホストにおいては、抗真菌薬の治療効果が低下す

る傾向があることが判りました。そこで、抗真菌薬による治療とは全く異なる、善玉腸内細菌により免疫力を高めその効果により口腔カンジダ症を改善させる方法の基礎的研究をして参りたいと考えております。腸内細菌を利用した治療法は、今日さまざまな医療分野で注目されており、口腔カンジダ症の新しい治療法に応用できないかと考えております。臨床においては、口腔粘膜に発生する口腔腫瘍、口腔粘膜疾患、口腔内異常感症についての症例に携わることが多かったことから、今後もこれらの経験を生かし地域医療に貢献して参りたいと考えております。教育においては、前大学では、国家試験の合格率向上のために低学年から少人数制グループの指導教員として、日々学生の勉強の中から発生する疑問や悩みを一緒に解決していくアカデミックアドバイザー(AA)の指導教員として長年従事して参りました。奥羽大学の教育方針に則りながら、学生教育にも貢献してまいりたいと思います。いまだ浅学の身では御座いますが、奥羽大学歯学部でも微力ながら奥羽大学の発展の為に誠心誠意努力していく所存で御座います。何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



薬学部

有機化学分野

教授 西村 良夫

2026年4月1日付で奥羽大学薬学部有機化学分野の教授を拝命いたしました、西村良夫と申します。この場をお借り

して、謹んでご挨拶申し上げます。

私は福岡県出身であり、高校在学時に勉強するなかで、いつしか化学を学ぶことが楽しくなっていました。化学反応を元素記号で記述する、ということに惹かれたのだと思います。大学を選ぶ際には化学に関係する実践的な分野を求め、東北大学薬学部に入学しました。卒業後は同大学大学院に進学し、「有機ガリウム中間体を利用する化学反応の開発」に関する研究に従事しました。博士課程後期を中途退学して研究室の助手となり、2009年に上記の研究内容で学位[博士(薬学)]を取得しました。その後、広島県の安田

女子大学薬学部にて赴任し、助手・助教・講師として勤務したのち、2021年度より奥羽大学薬学部にて准教授として赴任しました。研究対象として扱われていなかった、ピリミジン系の互変異性型化合物の新しい合成法と、薬のリード(タネ)としての機能を開発する基礎研究を行っています。

教育面においては、化学Ⅱ、有機化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを担当しています。薬学の中では、生体内で医薬品が作用する分子メカニズムを理解するための基礎科目に相当します。この分野は、一般に正解率が低く学生に敬遠されがちですが、暗記科目というより法則やルールを当てはめながら解く、応用力が重視される科目です。単純でない反面、深みや面白味の多い科目ともいえます。講義の際は、学生にこの点を実感してもらえるよう工夫し、また大袈裟ですが、学生の財産となるような講義資料を提供したいといつも思っています。質問には真摯に答え、学生と同じ方向を向いて、導けるよう指導したいと考えています。

その他、学内業務においては本学茶道部の顧問を(素人ですが)務めさせていただいており、学業以外の面でも充実した学生生活を送れるようサポートしております。個人的な趣味でランニングを続けており、マラソン大会には家族で年数回参加しています。2026年はいわきで初のフルマラソンに参加し、今後も挑戦を楽しみつつ続けていきたいです。

奥羽大学の発展に貢献するため、研究・教育・学内業務のすべてで納得される働きができるよう、謙虚な姿勢で尽力する所存です。引き続き、ご指導とご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

同窓生のひろば

文学部



石塚 久美子(旧姓 北林)
(文学部8期生)

私が奥羽大学を卒業してから、26年の歳月が流れました。大学生活は、ついこの間のことのようにも感じられますが、この春、息子が大学に入学し、子育てもひと

段落したことで、時の流れの早さをあらためて実感しています。

私にとって、奥羽大学での学生生活は非常に充実したものでした。なかでも、スキー部で過ごした日々は、かけがえのない思い出です。初心者から始めたスキーでは、なかなか思うように上達せず悔しい思いをしたこともありましたが、その一方で、部活動の仲間とともに大学祭に参加し、同期や後輩とセーラー服姿でダンスを披露したことなど、数え切れない思い出があります。また、安比高原で最後の大会を終えた際、先輩や後輩たちからねぎらいのビールかけをしていただいたことも、今では忘れられない大切な思い出となっています。

卒業後は銀行に就職し、主に窓口業務を担当しておりました。その後、結婚・出産を機に退職し、現在はご縁があって、日本赤十字社が運営する病院に勤務しております。病院では事務部門に所属し、医療現場の円滑な運営を支える業務に携わっています。

近年、AIの導入や労働人口の減少などにより、病院を取り巻く環境は大きく変化しています。従来の業務運営を続けるだけでは、こうした環境変化に対応することはできません。これからの病院運営を見据え、変化に対応できる力を身につけるため、現在は「診療情報管理士」の資格取得を目指して日々勉強に励んでおります。慣れない専門用語に苦戦することもあります。日本赤十字社の一員として、地域のため、そして病院のために貢献していきたいと考えています。

今の私があるのは、奥羽大学での生活を通して得たさまざまな出会いや経験があったからこそだと感じています。在学中に出会ったすべての方々に、心より感謝しております。これからは担う在学生の皆さんにとっても、奥羽大学が多くの出会いと経験を与えてくれる素晴らしい学びの場であり続けてほしいと願っています。貴学のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

人 事

<指定職>

清浦有祐	学 長	4月1日付
高田訓	歯学部 部長	〃
羽鳥弘毅	病院長	〃
安部仁晴	学生部長	〃
前田豊信	研究科 長	〃
	大学院	〃

<任用>

臼井通彦	教 授	歯科保存学	4月1日付
森一将	教 授	口腔外科学	〃
遠藤康仁	助 手	附属病院	〃
山本和彦	助 手	附属病院	〃
山本和之	助 手	附属病院	〃
蝦名山	助 手	附属病院	〃
笹山朋秀	助 手	附属病院	〃
穴戸馨	助 手	附属病院	〃
熊埜御堂孝昭	助 手	附属病院	〃
橋本隆雅	助 手	附属病院	〃
菅原志穂	助 手	附属病院	〃
中村勇介	助 手	附属病院	〃
竹内そのか	助 手	附属病院	〃
泉安優美	助 手	附属病院	〃
加藤祥真	助 手	附属病院	〃
佐藤真理	講 師	薬学部	〃
田崎かおる	助 教	薬学部	5月1日付

<任用更新>

高津匡樹	教 授	歯科補綴学	4月1日付
川合宏仁	教 授	口腔外科学	〃
鳥村和宏	教 授	成長発育歯学	〃
風間咲美	教 授	総合臨床医学	〃
安部仁晴	教 授	生体構造学	〃
金澤朋昭	講 師	歯科保存学	〃
加川千鶴世	講 師	口腔外科学	〃
矢口剛士	講 師	放射線診断学	〃
吉沢大樹	助 教	附属病院	〃
雨宮幹樹	助 教	附属病院	〃
橋原楓	助 教	附属病院	〃
澤弘平	助 教	附属病院	〃
北村裕紀	助 教	附属病院	〃
佐久間理央	助 手	附属病院	〃
柏木良友	教 授	薬学部	〃
西屋慎	教 授	薬学部	〃
佐藤栄作	教 授	薬学部	〃
高野真澄	教 授	薬学部	〃
須藤遙	教 授	薬学部	〃
伊藤頼位	准 教授	薬学部	〃
村田清志	准 教授	薬学部	〃
金原淳	講 師	薬学部	〃
畠山靖子	講 師	薬学部	〃

<昇任>

小林美智代	新 准 教授	旧 講 師	4月1日付
	口腔衛生学	口腔衛生学	
根本奈央子	講 師	助 教	〃
	成長発育歯学	成長発育歯学	
荻野早紀	講 師	助 教	〃
	成長発育歯学	成長発育歯学	
渡邊 輝	助 教	助 手	〃
	口腔外科学	口腔外科学	
住谷 雅	助 教	助 手	〃
	成長発育歯学	成長発育歯学	
松木孝介	助 教	助 手	〃
	成長発育歯学	成長発育歯学	
齊藤大輔	助 教	助 手	〃
	生体構造学	生体構造学	
藤山修平	助 教	助 手	〃
	附属病院	附属病院	
倉品慶子	助 教	助 手	〃
	附属病院	附属病院	
佐藤 開	助 教	助 手	〃
	附属病院	附属病院	
水野壮康	助 教	助 手	〃
	附属病院	附属病院	
伊澤 輝	助 教	助 手	〃
	附属病院	附属病院	
五十嵐淳美	助 教	助 手	〃
	附属病院	附属病院	
前田けやき	助 教	助 手	〃
	附属病院	附属病院	
志賀虹渚	助 教	助 手	〃
	附属病院	附属病院	
西村良夫	教 授	准 教授	〃
	薬学部	薬学部	

<定年>

鳥村和宏	教 授	成長発育歯学	5月13日付
------	-----	--------	--------

<再任用>

山森徹雄	新 教 授	旧 教 授	4月1日付
	附属病院	附属病院	
押尾 茂	教 授	教 授	〃
	薬学部	薬学部	
小池勇一	教 授	教 授	〃
	薬学部	薬学部	
伊藤 鍛	教 授	教 授	〃
	薬学部	薬学部	
佐藤 研	教 授	教 授	〃
	薬学部	薬学部	
鳥村和宏	教 授	教 授	5月14日付
	成長発育歯学	成長発育歯学	

<昇格>

	新	旧		内 藤 大 貴 助	教 附 属 病 院	〃
笠 井 祐一郎	技 術 主 任	技 術 職 員	4月1日付	高 橋 晃 司	助 教 附 属 病 院	〃
	総 務 部	総 務 部		大 山 由 人	助 手 附 属 病 院	〃
中 野 美 波	歯科衛生士主任	歯科衛生士	〃	萩 原 淳	助 手 附 属 病 院	〃
	病院医療部	病院医療部		國 分 優 子	事 務 職 員 総 務 部	〃
				川 中 有 咲	歯科衛生士 病院医療部	〃

<採用>

三 瓶 直 美	事 務 職 員	財 務 部	4月1日付
宗 像 愛	事 務 職 員	財 務 部	〃
松 谷 美 萌	事 務 職 員	財 務 部	〃
鯨 澤 美智子	事 務 職 員	学 事 部	〃
熊 谷 香 里	事 務 職 員	病院事務部	〃
飯 塚 智 美	歯科衛生士	病院医療部	〃
佐 久 間 麗	歯科衛生士	病院医療部	〃
塩 田 美 里	歯科衛生士	病院医療部	〃
高 橋 実 里	歯科衛生士	病院医療部	〃
森 田 雛	歯科衛生士	病院医療部	〃

<再雇用>

角 田 真 伴	技術職員(課長)	総 務 部	4月1日付
渡 邊 弘	技 術 職 員	総 務 部	〃
田 卷 勝 幸	警 備 職 員	総 務 部	〃
橋 本 誠 次	警 備 職 員	総 務 部	〃
原 田 清 子	労 務 職 員	総 務 部	〃
宇佐見 正	技術職員(主任)	学 事 部	〃
佐 藤 道 子	事 務 職 員	学 事 部	〃
影 山 利 夫	事 務 職 員	学 事 部	〃
御代田 明 彦	歯科技工士(係長)	病院医療部	〃
遠 藤 龍 弥	放射線技師(主任)	病院医療部	〃
長谷川 淳 子	看 護 課 長	病院医療部	〃
渡 部 敏 恵	看 護 係 長	病院医療部	〃
馬 場 マキ子	看 護 師	病院医療部	〃
國 分 真由美	看 護 師	病院医療部	〃
安 齋 真由美	看 護 師	病院医療部	〃
本 田 ヨリ子	栄 養 士	病院事務部	〃

<異動>

	新	旧	
高 橋 昌 宏	講 師	講 師	4月1日付
	歯科保存学	歯科補綴学	
高 橋 文太郎	講 師	講 師	〃
	口腔病態解析制御学	口 腔 外 科 学	

<定年退職>

高 橋 慶 壮	教 授	歯科保存学	3月31日付
---------	-----	-------	--------

<退職>

瀬 川 洋	教 授	口腔衛生学	3月31日付
松 本 知 生	准 教 授	歯科補綴学	〃
山 崎 厚 作	講 師	歯科保存学	〃
橋 本 昌 典	講 師	歯科保存学	〃
岡 崎 智 世	講 師	成長発育歯学	〃
山 崎 幹 子	講 師	口腔病態解析制御学	〃
梅 村 浩二郎	助 教	歯科補綴学	〃
山 口 雄 大	助 教	附 属 病 院	〃



チョウセンアサガオ



チョウセンアサガオ(曼陀羅華)は、ナス科の1年草で園芸品種としてダツラの名前で広く流通しており、きれいな花が咲くので庭に植えている方も多いと思います。開花は夜に行われます。この植物はアルカロイドであるアトロピンを含み、1804年に江戸時代の外科医、華岡青洲がチョウセンアサガオを主剤とした全身麻酔薬「通仙散(別名：麻沸散)」を患者に服用させて、世界で初めて乳がん患者を手術して成功をおさめたとされます。近代麻酔のもととなるエーテル麻酔手術(1846年)の40年前のことです。「華岡青洲の妻」として小説化もされています。チョウセンアサガオ、ケチョウセンアサガオ、ヨウシュチョウセンアサガオがあり、見分け方は、前2者は丸みを帯びた葉で肌色の種子を作り、後者は粗い鋸歯がある葉で黒色の種子を作ります。チョウセンアサガオとケチョウセンアサガオの違いは毛があるかどうかで遺伝子的に同じとされます。ヨウシュチョウセンアサガオはアトロピンの製造原料の一つにもなっています。ダツラエキス(ヨウシュチョウセンアサガオ)を配合してつらい鼻水、鼻づまりの症状を緩和する医薬品も販売されています。偶然かもしれませんがヨーロッパでは同じナス科の近縁種マンドレーク(mandrake)を鎮痛薬、催眠薬として用いていたらしく、「ロミオとジュリエット」の仮死状態として有名です。また、チョウセンアサガオの根は細いゴボウに似ているため、誤食する事故が報告されていますので注意が必要です。

(薬学部 村田清志)



ヨウシュチョウセンアサガオ
ダツラ、トロパンアルカロイド、鎮痛鎮痙



ケチョウセンアサガオ

2027 年度 奥羽大学入試日程

歯学部	入 試 区 分	入 試 日	合 格 発 表
	総 合 型 選 拔 一 期	2026.10.22(木)	2026.11. 2(月)
	同 窓 特 別 一 期		
	社 会 人 特 別 A		
	2 年 次 編 入 A		
	学 校 推 薦 型 選 拔 一 期	2026.11.24(火)	2026.12. 1(火)
	社 会 人 特 別 B		
	2 年 次 編 入 B		
	総 合 型 選 拔 二 期	2026.12.16(水)	2026.12.24(木)
	学 校 推 薦 型 選 拔 二 期		
	3・4 年 次 編 入 一 期		
	一 般 一 期	2027. 1.20(水)	2027. 1.25(月)
	特 待 一 期		
	社 会 人 特 別 C		
	2 年 次 編 入 C		
	3・4 年 次 編 入 二 期		
	一 般 二 期	2027. 2.18(木)	2027. 2.25(木)
	特 待 二 期		
	社 会 人 特 別 D		
	2 年 次 編 入 D		
	3・4 年 次 編 入 三 期		
	一 般 三 期	2027. 3.12(金)	2027. 3.17(水)
	特 待 三 期		
	同 窓 特 別 二 期		
	社 会 人 特 別 E		
	2 年 次 編 入 E	2027. 3.23(火)	2027. 3.25(木)
	社 会 人 特 別 F		
	2 年 次 編 入 F		
	3・4 年 次 編 入 四 期		

薬学部	入 試 区 分	入 試 日	合 格 発 表
	総 合 型 選 拔 一 期	2026.10.10(土)	2026.11. 2(月)
	学 校 推 薦 型 選 拔 一 期	2026.11. 7(土)	2026.12. 1(火)
	総 合 型 選 拔 二 期		
	編 入 学 試 験 一 期		
	学 校 推 薦 型 選 拔 二 期	2026.12.19(土)	2026.12.24(木)
	総 合 型 選 拔 二 期		
	社 会 人 入 試		
	帰 国 生 徒 入 試		
	特 待 生 選 拔 一 期	2027. 1.20(水)	2027. 1.25(月)
	一 般 入 試 一 期		
	特 待 生 選 拔 二 期	2027. 2.18(木)	2027. 2.25(木)
	一 般 入 試 二 期		
	編 入 学 試 験 二 期	2027. 3.12(金)	2027. 3.17(水)
	一 般 入 試 三 期		
	特 待 生 選 拔 三 期		
	編 入 学 試 験 三 期		

豊かな学修環境

最大6年間
学費
フルサポート

自力進学支援型

歯学部・薬学部
特待生募集

▶返納義務無し ▶一時納入の必要無し

キミのやる気と実力を存分に活かしてほしい。
医療人としての人生をここから始めよう。
人間性豊かな歯科医師、薬剤師になるために。

歯学部 **16名** 薬学部 **20名**



入学金
50万円
のみ

最大6年間
**2,100万円
免除**



入学金
20万円
のみ

最大6年間
**900万円
免除**

まずはお問い合わせください！

人間力を
養う教育

高度医療を
支える知識

Innovative Future

奥羽大学

オウウダイガク



歯学部



薬学部

TEL 024-932-8995

〈お問い合わせ先 企画・広報課〉

〒963-8041 福島県郡山市富田町字三角堂31番1 FAX: 024-933-7372
E-mail: info@ohu-u.ac.jp